

骨髄系血液悪性疾患における新規治療標的としての表面抗原分子に関する研究 後方視的検討

研究対象:

2000年1月1日～2017年12月31日に大阪国際がんセンターで骨髄検査を受けた患者さん

研究の概要:

本研究は、当院で骨髄系の血液悪性疾患(急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性疾患の方)の白血病細胞(芽球)上での表面抗原分子の発現などを解析します。

研究の意義:

本研究により骨髄系血液悪性疾患における表面抗原分子の発現およびその発現と予後の関連が明らかとなることで、表面抗原分子を標的とした新規治療の開発につながる可能性がある。そのような新規治療の開発は治療選択肢の限られた骨髄系血液悪性疾患において予後を改善することに貢献することが期待される。

目的:

本研究の主たる目的は骨髄系血液悪性疾患における新規治療標的としての表面抗原分子の同定です。

方法:

既に保管された骨髄検体を用いて表面抗原分子の解析を行います。またこの表面抗原分子の発現と患者さんの背景などとの関連に関して診療録を調査し情報収集を行います。いずれの情報もカルテにすでに含まれているもので、この研究のために新たに患者さんに検査を行うものではありません。

個人情報保護に関する配慮：

個人情報が公表されることはいかなる形でもありません。後方視的に過去の診療録を調査する際には、個人情報が特定されないやり方で情報を収集します。また、このホームページにおいて本研究を実施することについて公開し、問い合わせ等に応じます。患者さんからのご希望があれば、その方のデータは研究に利用しないように配慮いたします。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 血液内科 藤 重夫

〒541-8567 大阪府中央区大手前 3-1-69

TEL : 06-6945-1181